

一県道宇都宮栃木線南進方向において渋滞長が1 km以上減少、
交差点全体においても一定の渋滞緩和効果を確認。本格導入へー

実施内容

- ◆実施期間：令和8年3月18日～令和8年7月31日
- ◆実施場所：県道宇都宮栃木線（栃木街道） 淀橋南交差点

第1弾 (国) 121号において左折車線を2車線に変更 (3/18～)

これまで、(国) 121号では、第1車線のみ左折の通行区分であったが、第2車線に左折を追加し、2車線左折の通行区分に変更した。

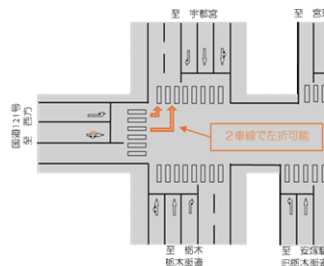


図-2：交差点図



図-1：位置図

第2弾 信号表示とサイクルの変更 (4/22～)

信号表示の変更

時差式信号を追加した新たな信号表示により交通を制御する

サイクルの変更

全体サイクル時間は変更せず、各方向における青信号表示時間の配分を最適化

【宇都宮栃木線重点型】

宇都宮栃木線南北方向の青時間のみ拡大

4/22

【宇都宮栃木線南進特化型】

宇都宮栃木線南進方向の青時間のみ拡大

4/23～28

現況

【全体バランス型】

宇都宮栃木線南進方向を重視しつつ、各方向に青時間を配分

4/28～

結果

【表-1より】

A・B・C・E方向の渋滞長が減少、
D方向の渋滞長が増加

→交差点全体で一定の緩和効果を確認

最大渋滞長 (7:00～10:00、16:00～19:00)

方向	実験前	実験後	増減値 (実験後) - (実験前)
A方向	1400m	50m	-1350m
B方向	260m	90m	-170m
C方向	240m	120m	-120m
D方向	30m	100m	70m
E方向	180m	120m	-60m

表-1：最大渋滞長 (m)

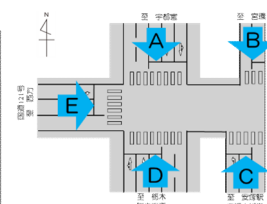


図-3：調査方向図

利用者の声

壬生町在住者：「宇都宮栃木線南進方向の渋滞が緩和された」

地元住民の方：「ドライバーも信号表示に慣れてきて、かなり良くなった」

通勤利用者：「以前は赤信号2回以上待っていたが、今は赤信号1回待ちで通過できるようになった」

おわりに

本実験の実施にあたり、地域の皆様および道路利用者の皆様には、通行方法の変更等にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

※本実験の更に詳しい内容につきましては、【詳細版】資料をご確認ください。

【実施機関・協力機関】

実施機関：栃木県栃木土木事務所 企画調査課
協力機関：栃木県警察本部、栃木警察署

